

戦略的健康管理が会社を変える

国内最大級の感染症対策から考える健康管理

日経スペシャル
健康セミナー21



従業員の健康管理をコストの視点ではなく利益の視点から考える「健康経営」が広がっている。経営者にとって無視できない健康経営を考えるシンポジウムが10月2日、東京・大手町の日経ホールで開かれ、国内最大級の感染症「肝炎」の対策にどう取り組むかなどについて活発に意見を交わした。



厚生労働省
肝炎総合対策推進国民運動特別参与
歌手・俳優
杉良太郎氏

近親者の肝炎治療を経験した俳優の杉良太郎さんとフリーアナウンサーの徳光和夫さんが、会社の健康管理について思いを語った。杉氏が肝炎総合対策の特別参与を務めているのは、妻の歌手・伍代夏子がC型肝炎だったことも影響している。今は完治したが治療には苦痛が伴った。良い薬が出てきたので早く6カ月、長く1年も治療すればほとんど治ると聞き、思い切って治療を始めたが、結局、1年半かかった。週



1回の注射治療中は体調不良が続く本人は大変苦しい。杉氏は、杉良太郎さんと徳光和夫さんが、会社の健康管理について思いを語った。杉氏が肝炎総合対策の特別参与を務めているのは、妻の歌手・伍代夏子がC型肝炎だったことも影響している。今は完治したが治療には苦痛が伴った。良い薬が出てきたので早く6カ月、長く1年も治療すればほとんど治ると聞き、思い切って治療を始めたが、結局、1年半かかった。週

検査の働きかけ 経営者に要望



最近、飲み薬で済むと聞く。すばらしい進歩だ。徳光 私自身にもC型肝炎の診断を受けた者がいる。最近、飲み薬で済むと聞く。すばらしい進歩だ。徳光 私自身にもC型肝炎の診断を受けた者がいる。

従業員の健康経営の資源に

健康経営は、健康経営という言葉はよく聞くが、健康経営とは何だろうか。健康経営とは、従業員の健康を経営資源と捉え、健康管理に積極的に取り組むことで、様々な疾患を予防し従業員が心身ともに元気に働くことである。経営の効率化、生産性の向上が図れるという経営手法だ。既に米国では、企業の経営ハブフォーカスを10年間の株の推移で見ると、健康経営に取り組んだ企業の株価が上がるというデータがある。業績のよい企業



健康経営は、健康経営という言葉はよく聞くが、健康経営とは何だろうか。健康経営とは、従業員の健康を経営資源と捉え、健康管理に積極的に取り組むことで、様々な疾患を予防し従業員が心身ともに元気に働くことである。経営の効率化、生産性の向上が図れるという経営手法だ。既に米国では、企業の経営ハブフォーカスを10年間の株の推移で見ると、健康経営に取り組んだ企業の株価が上がるというデータがある。業績のよい企業

ヘルスケア・コミッティー会長・東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニット特任助教 古井 祐司氏

企業業績と健康経営は連動

健康経営に取り組むと、50代前半で7倍になる。動き盛りの世代で心筋梗塞などを初めて発症し、倒れてしまう人の3人に2人は生活習慣病の治療をしていなかったというデータがある。40代前半は、突然死の動機を意図したり、同僚の割合が高くなる時期であり、死因として心臓疾患や脳血管疾患が86%を占めている。このうち割合が事前の健康づくり、予防、健診を行うことで発症を防ぐことができたのではないかと考える。加齢に伴う病気の罹患率（リスク）が急激に高まる。企業における従業員の健康管理も「健康づくり」は個人の責任だけでなく、職場環境の整備が健康経営に大きく貢献することが分かっており、社会構造が劇的に変化する現代では企業も守りの取り組みだけでなく攻めの取り組みを行う好機だ。健康に関する課題は、地域や職場によって違ってくる。職業によっても特徴がある。交替制勤務の人が限りがちな生活習慣病というものが事前に分かっていれば、職場の動機を意図したり、同僚

健康経営に取り組むと、50代前半で7倍になる。動き盛りの世代で心筋梗塞などを初めて発症し、倒れてしまう人の3人に2人は生活習慣病の治療をしていなかったというデータがある。40代前半は、突然死の動機を意図したり、同僚の割合が高くなる時期であり、死因として心臓疾患や脳血管疾患が86%を占めている。このうち割合が事前の健康づくり、予防、健診を行うことで発症を防ぐことができたのではないかと考える。加齢に伴う病気の罹患率（リスク）が急激に高まる。企業における従業員の健康管理も「健康づくり」は個人の責任だけでなく、職場環境の整備が健康経営に大きく貢献することが分かっており、社会構造が劇的に変化する現代では企業も守りの取り組みだけでなく攻めの取り組みを行う好機だ。健康に関する課題は、地域や職場によって違ってくる。職業によっても特徴がある。交替制勤務の人が限りがちな生活習慣病というものが事前に分かっていれば、職場の動機を意図したり、同僚

講演

厚生労働省 健康局疾病対策課 肝炎対策推進室長 鈴木 章記氏
講演 肝炎対策では、杉良太郎氏を特別参与に任命し、「知って、肝炎プロジェクト」として国民運動を展開している。杉特別参与がスペシャルサポーターを24組任命し、普及啓発している。187億円の税金がインタフェロン治療等の助成、肝炎ウイルス検査、研究開発などに使われている。肝炎治療は飛躍的な進歩をとけている。治療には



費用から資産へ
苦痛を伴うというイメージがあるが、インタフェロン注射のため定期的に通院する必要もなく、薬を飲むだけで済む日も近い。経営者が健康診断の場を活用して肝炎ウイルス検査の機会をつくり、保健所、委託医療機関で実施している無料検査に社員が行くように後押しするだけで効果がある。治療が必要な人の場合、勇気を持って治療に専念できる職場づくりをしてもらうことが健康経営の考え方や合致し、肝炎対策の費用を資産に転換できる。知って、肝炎プロジェクト」パートナー企業への参画も期待したい。

パネルディスカッション

いかに肝炎対策に取り組み企業を健全な成長に導くか？

徳光 企業における肝炎対策の実態調査について伺いたい。
渡辺 40歳以上についてはB、C型肝炎ウイルススクリーニングはそれぞれ10年前後に推奨されている。多くは無症状で検査をしないという現状に進行している。職場での肝炎ウイルス検査は早期発見の糸口になる。C型肝炎はほぼ9割以上治療の病気が、B型肝炎も薬をうまく使えばほとんど薬を食い止めることができる。早期発見で肝硬変、臓器がんになる前に治療。職場における肝炎ウイルス検査の意義は大きい。過去4回、肝炎検査をしてほしいと通達があったにもかかわらず、知っていたのは約1割の企業だけ。うまく情報を伝えることが重要だ。
古井 個々の意識がもっとも重要だが、産業界と連携しながら健診を受けやすい環境づくりと情報提供をしていくことが大事。すべての人に関係があることなので、社員全員、組織全体で取り組んでいただきたい。
徳光 フジクラは健康経営を実践している。取り組みや肝炎対策の状況を教えてください。
浅野 2009年から社員が活き活きと仕事ができるように健康経営に取り組んでいる。14年1月1日にはグループ健康経営宣言を出した。注力しているのは



徳光氏



浅野氏

予防の視点に注力／効果的情報伝達を

浅野氏 組織で取り組み
常に重要でベースとなる。社員の活動量の方に活動量計を持ってもらい、体組成計、血圧計を社内にも置いて、日々のデータも使いやすくして、健康経営を推進する。健康経営に取り組むと、50代前半で7倍になる。動き盛りの世代で心筋梗塞などを初めて発症し、倒れてしまう人の3人に2人は生活習慣病の治療をしていなかったというデータがある。40代前半は、突然死の動機を意図したり、同僚の割合が高くなる時期であり、死因として心臓疾患や脳血管疾患が86%を占めている。このうち割合が事前の健康づくり、予防、健診を行うことで発症を防ぐことができたのではないかと考える。加齢に伴う病気の罹患率（リスク）が急激に高まる。企業における従業員の健康管理も「健康づくり」は個人の責任だけでなく、職場環境の整備が健康経営に大きく貢献することが分かっており、社会構造が劇的に変化する現代では企業も守りの取り組みだけでなく攻めの取り組みを行う好機だ。健康に関する課題は、地域や職場によって違ってくる。職業によっても特徴がある。交替制勤務の人が限りがちな生活習慣病というものが事前に分かっていれば、職場の動機を意図したり、同僚

職場の環境が大切

荒川氏 リスクと自己管理
荒川氏 費用は？
徳光 費用は？
荒川氏 費用は？



渡辺氏



荒川氏

会場アンケート 積極的意見相次ぐ

シンポジウム当日のアンケート(200人が回答)で、会社・組合での肝炎ウイルス検査実施状況について尋ねたところ、「職場・組合内では実施していない」が33%だった。セミナー参加者の肝炎対策の取り組みについて尋ねた結果は、「健康診断への肝炎検査導入を検討する」(12.5%)、「費用補助を検討する」(3.5%)、「従業員・組合への周知を検討する」(38.5%)と今後の取り組みに積極的な姿勢が見られた。自由回答では、「肝炎対策の基本的な仕組みの理解が得られた」「先進的な健康経営を実践している企業の話が聞けた」という意見がある一方、肝炎検査は一生に1度でいいことに対する認知度の低さを挙げる意見もあった。

職場の環境が大切

荒川氏 リスクと自己管理
荒川氏 費用は？
徳光 費用は？
荒川氏 費用は？

職場の環境が大切

荒川氏 リスクと自己管理
荒川氏 費用は？
徳光 費用は？
荒川氏 費用は？

職場の環境が大切

荒川氏 リスクと自己管理
荒川氏 費用は？
徳光 費用は？
荒川氏 費用は？